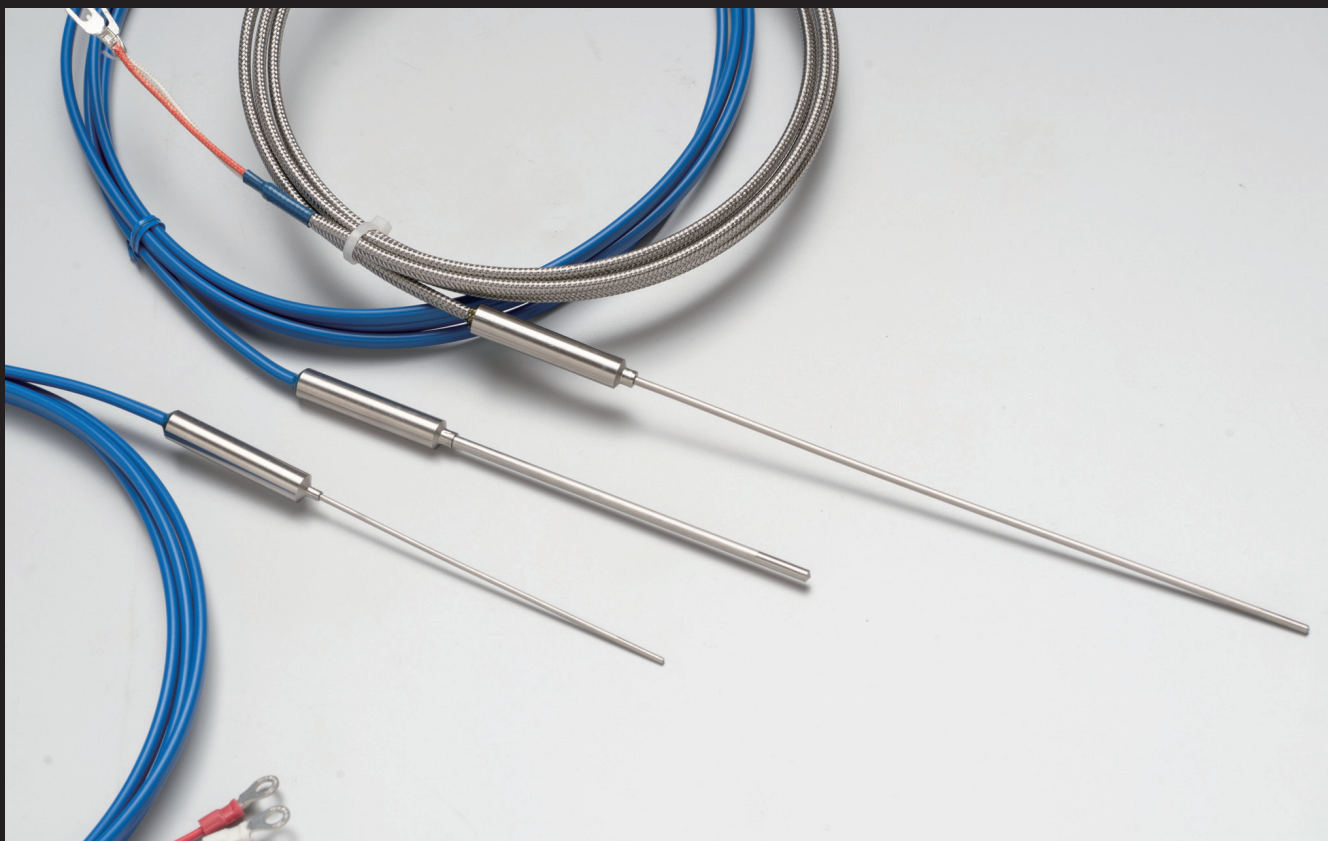


シース熱電対

シース熱電対は、金属細管中に熱電対素線と高純度の絶縁物を高密度に封入した熱電対です。

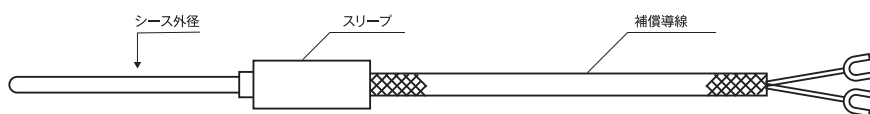


特 徴

- 細管仕上
仕上り外径が細いため、小さな測温物や
せまい個所に簡単に挿入でき、高温高圧 (350kg/cm²)
での耐久性が高い。
- 感度敏感
極細細管シースと素線の間隙が少ない上に高熱伝導性の
絶縁物が使用されているため、微少な温度変化にも敏感
で熱応答が速い。
- 長寿命
素線の回りが高純度絶縁物で完全に覆われており、
シースによって外部との気密が完全に保持されているため
熱酸化を防ぎ寿命が長い。
- 設置簡単
シース外径が細く柔軟性に富み、最小曲げ半径はシース外
径の2倍まで手で曲げることが可能。



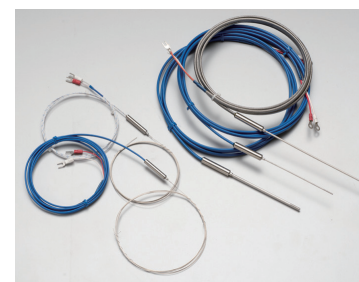
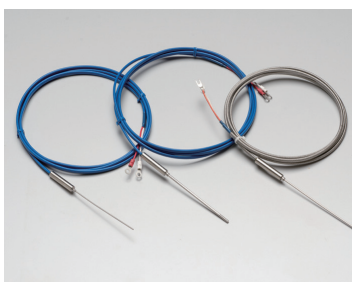
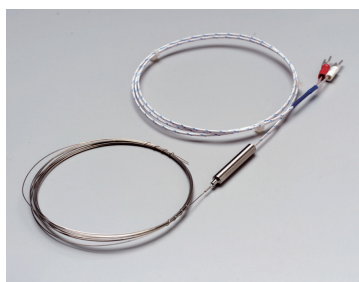
標準仕様



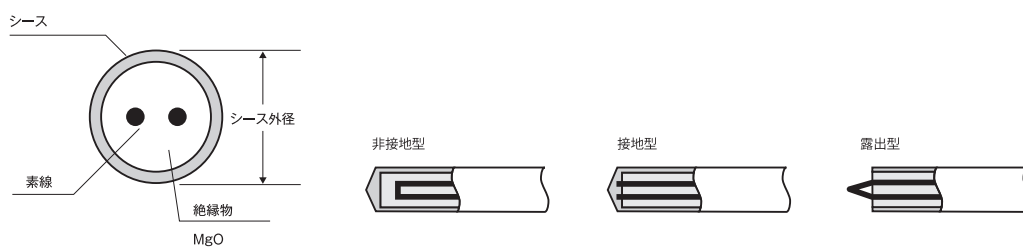
シース外径 (mm)	Φ0.1	Φ0.15	Φ0.25	Φ0.3	Φ0.5				Φ1.0	Φ1.6	Φ2.2	Φ3.2	Φ4.8	Φ6.4	Φ8.0
タイプ	K				E	J	T	K							
シース材質	SUS316	SUS316 NCF600		SUS316 NCF600	SUS316	SUS304	SUS316	SUS316							
スリーブ寸法 (mm)	Φ4×L32		Φ4×L32 Φ6×L35				Φ8×L40				Φ10×L50				

※素線と補償導線をスリーブ内で接続し、耐熱エポキシ樹脂を充填した構造です。スリーブ部分の温度が120℃以上にならないようご注意ください。

※補償導線の被覆材はビニール(標準仕様)、ガラスクロス、テフロンなど選定可能です。ご相談ください。



構造と種類



種類と記号	極別素材と組合	使用温度範囲と主特性
K(C・A)	+ クロメル	最高1150℃程度まで使用可能。 安価で熱起電力が高く、温度と熱起電力の関係が直接的であるため工業用としての使用頻度が高い。
	- アルメル	
E(CR・C)	+ クロメル	300~800℃程度の使用に最適で、現用の熱電対の中では最も感度がよく、C・Aに比較して50%の高熱起電力を有する。
	- コンスタンタン	
J(I・C)	+ 純鉄	常用600℃以下で使用され、安価で感度が高いので工業用にC・A熱電対に次いでの高使用量。
	- コンスタンタン	
T(C・C)	+ 純銅	常用300℃以下で使用され、感度はC・Aよりやや高く、I・Cより若干劣るが、高精度、低電気抵抗のため低温度用に汎用性が高い。
	- コンスタンタン	